

<h1>SDT</h1>	<h2>制振工学研究会通信</h2> <p>SOCIETY OF DAMPING TECHNOLOGY NEWS</p> <p>2017年 4月号</p>	<p>2017年 4月 1日発行 編集 集：会報編集委員会 編集責任者：小白井 敏明 担当者：山口 道征 URL http://www.sdt-jp.com</p>
--------------	---	--

◇お知らせ

・本通信により会員各位に有用な情報を提供すべく毎月の編集会議では頭を悩まして議論しております。つきましては、ここで取り上げてほしい事がございましたらそのご要望を次のアドレスまで是非お寄せください。

E-MAIL:yamagu@pc.highway.ne.jp

◇研究会の行事案内

開催日時	開催地・会場	名 称	内 容
17.06.16	日本合成樹脂技術協会会議室	制振・防振材料設計における基本と応用	講習会(別紙参照)

◇分科会・WG・委員会の予定

開催日時	開催地・会場	名 称
17.04.14 15:00~17:00	日本音響エンジニアリング 3F.	利用技術分科会・建築における制振材料利用技術WG
17.04.20 13:00~17:00	三井化学(株)汐留シティセンター18F.G会議室	計測評価技術分科会・音響管計測WG2会議
17.04.27 15:00~17:00	音環境技術研究所集會室	会報編集委員会

◇会員消息 (2017年 4月 1日現在)

○会員数		○入・退会者
法人会員	25 社	—
個人会員	46 人	—
学生会員	0 人	—

◇関連学協会等の行事案内

開催日	開催地・会場	名 称	主催団体及び内容
17.04.21	千葉工大津田沼キャンパス (千葉県市習志野市)	2017年春季研究発表会	日本騒音制御工学会 http://www.ince-j.or.jp/recita

◇技術情報

制振工学研究会 講習会 開催案内(<http://www.sdt-jp.com/>)

【制振・防振材料設計における基本と応用】

開催日時：2017年 6月16日(金)13:00~16:50

会 場：(一社)日本合成樹脂技術協会5階会議室

内 容：振動は、製品の故障、価値の低下を招く、望まれない現象であり、多くの製品で対策が講じられている。振動対策は大きく、制振と防振に分類されるが、それぞれ振動抑制のメカニズムが異なるため、適切な材料を適切に配置することが重要である。本講習会では、制振、防振の基本的な考え方、実際に振動対策を行う際の材料設計、材料の選択、評価手法について説明する。

修了証書：参加者には講義終了後に制振工学研究会講習会修了証書を発行します。

定 員：20名、申込先着順により満員になり次第、締め切ります。

(参加者が少ない場合、中止することがあります。あらかじめご了承ください。)

受 講 料：会 員 15,000円、学生会員 無料、会員外 25,000円、会員外(学生) 5,000円

申込締切：2017年5月31日(水)

主 催：制振工学研究会

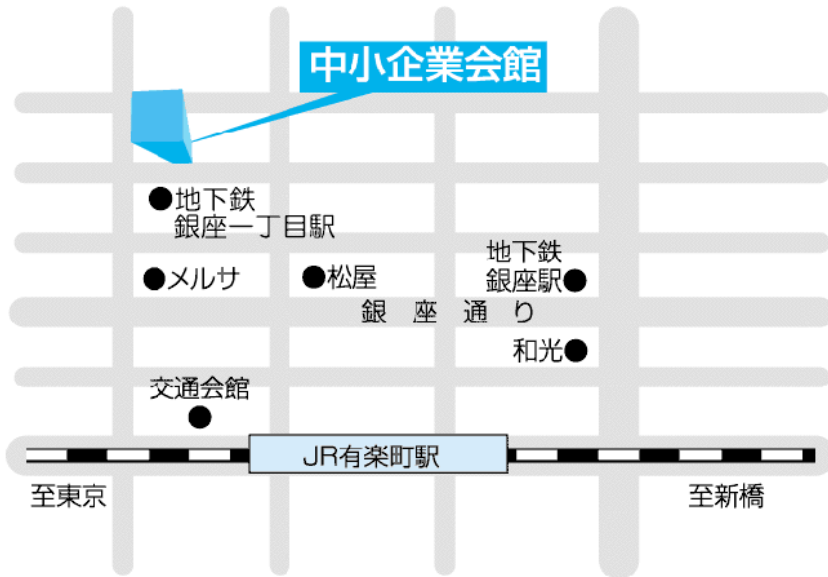
申 込 先：(一社)日本合成樹脂技術協会内制振工学研究会

〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18 5F.

電話 03-3542-0261 , FAX 03-3543-0619

(次ページに続く)

会場案内：(一社)日本合成樹脂技術協会は、下記「中小企業会館」の5階になります。



地下鉄有楽町線銀座一丁目駅 徒歩1分(11出口)

地下鉄銀座線銀座駅 徒歩7分(A13出口)

JR 有楽町駅 徒歩13分

プログラム

13:00～14:10 高分子材料の力学的性質と評価手法(70分)

赤坂 修一(東京工業大学)

講義内容：制振・防振材料として、高分子材料が用いられることが多い。これは、柔軟で破断歪が大きく、力学的損失に優れるためであるが、一方で構造に由来する緩和を示し、温度、周波数依存性が大きい。対象とする振動に対して、適切な材料の選択、設計を行うためには、高分子材料の力学的性質の基礎を把握することが重要である。本講演では、高分子材料の構造と力学物性の関係、力学物性の評価手法について説明する。

14:20～15:30 制振・防振材料適用のための力学モデル(70分)

佐藤 美洋(元上智大学)

講義内容：防振・制振材料を用いて振動低減を図る上で、材料の動的性質とその適正なモデル化及び防振・制振のシミュレーションによる評価が重要である。ここでは、実在の防振、制振材の典型的な動的性質を示し、いくつかの力学・数学モデルを提示する。それらを用いた防振・制振のシミュレーションにより、材料特性の防振・制振特性の評価につなげる。

15:40～16:50 制振、防振材料の設計手法と開発動向(70分)

西澤 仁(西澤技術研究所)

講義内容：振動減衰技術としての制振、防振技術は、自動車、半導体製造技術、精密加工技術、精密測定技術、各種情報産業技術において極めて重要な技術として活躍している。その中で特に高分子材料は、分子構造の多様性、優れた加工性の特徴を生かしてその応用分野は広い。今回は、高分子材料の分子構造、材料組成と制振特性、防振特性の関係等を考察し、新規材料開発の基本的な考え方をまとめ、更に最近の開発動向を紹介したい。また、免震技術における高分子材料の応用についても触れたい。

司会：赤坂修一(東京工業大学、制振工学研究会・材料技術分科会主査)

(次ページに続く)

(一社)日本合成樹脂技術協会内 制振工学研究会御中

Email : infosem@sdt-jp.com

FAX : 03-3543-0619

講習会申込書

講習会名 : 制振・防振材料設計における基本と応用

開催日/会場 : 2017年6月16日(金)13:00~16:50

(一社)日本合成樹脂技術協会5階会議室

〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館5F.

会社名 :

会社住所 :

部署名 :

お名前 :

電話 :

Eメール :

講習会費用支払い方法(下記○印でご指定下さい)

1. 当日現金払い

2. 銀行振込

三菱東京UFJ銀行 京橋支店

口座番号 : 普通 1069682

口座名 : 制振工学研究会

※お振込み手数料は貴社にてご負担下さい。

※申込は1名、1葉にてお願い申し上げます。

事務窓口	〒104-0061東京都中央区銀座 2-10-18 一般社団法人 日本合成樹脂技術協会
	Tel. 03-3542-0261 Fax. 03-3543-0619
	URL http://www.sdt-jp.com